

2026年永野小学校地域防災拠点 運用マニュアル(Ver.20260705)

マニュアルについて

横浜市の「地域防災拠点」解説・運用マニュアル雛型や資料編等に沿って、**震度5強の地震が横浜市内で発生した場合の**永野小学校地域防災拠点の開設・運営を、マニュアル化したものです。（地震発生から72時間の対処を想定）

発災時に、参集できた運営委員や経験者が、避難者を含め、協力者に適切に指示、依頼ができる指針となるものを目指しています。

※改定年月日をバージョンとして明示する。

（例 2020年8月26日改定の場合 Ver.20200826）

※2024年4月に横浜市防災計画が改訂されたが、地域防災拠点に関する詳細が未発表な為、暫定版として更新する。

本マニュアルの配布、更新、準備について

- (1) 年度開始時、全運営委員に配布し、活動に対する理解をうながす。
- (2) 記載を変更する必要がある場合、差し替え等を随時行う。
- (3) 年度終了までに、運営委員会にて、次年度版を作成・承認し、配布、備蓄できるよう準備する。
- (4) 災害発生時には、必要に応じ、多目的室にあるPCやインクジェットプリンターを使いコピーを作成する。
※避難者にも回覧・参照できるようにし、拠点運営に理解と協力を得られるようにする。
- (5) 発災時の対応ツール「初期手順指示シートのセット（指示セット）」を更新する。

※2026年版も、指示セット内容をそのまま縮小印刷しマニュアルとする。

< 参考 >

永野小学校地域防災拠点運営委員会（横浜市HP 地域防災拠点より）

※上永谷、美晴台、菱興上永谷、いずみプラザ上永谷、上永谷富士見台の
各自治会・町内会で構成

< 平常時の主な活動 >

（1）避難場所運営マニュアルの作成 （2）防災資機材等の取扱講習及び防災研修
会の開催 （3）防災訓練の実施及び地域の防災リーダーの養成

< 発災時 >

地域防災拠点の立上げ、運営をマニュアル等に基づき主導する。

< 発災時の注意点 >

- ◇ 避難所では、避難者の全員が運営の支援を担って行くこと
- ◇ 運営委員会の方々だけが頑張りすぎて疲労しないこと
- ◇ 災害時は、避難所と在宅被災生活者がいる地域と、密接に連携して行くこと

参照した横浜市の防災関係マニュアル（平成24年大幅改定後、順次見直）

①「地域防災拠点」開設・運営マニュアル（雛型）様式を含め23ページ

＜平成25年4月 平成28年・2019年一部改訂＞

②「地域防災拠点」開設・運営マニュアル（資料編）様式を含め60ページ

＜平成27年10月 平成30年4月・2019年一部改訂＞

③地域防災拠点訓練マニュアル 様式を含め69ページ

＜平成24年4月 平成28年一部改訂＞

④新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域防災拠点の開設・運営のポイント様式等含め28ページ

＜令和2年6月 令和3年5月一部改訂＞

①②を統合した「地域防災拠点」開設・運営マニュアル83ページ＜令和4,5年1部改訂＞

指示パッケージと運営ステップの構成とイメージ

